

コロナに負けるな！ 彦根市立病院の 取り組み

※掲載している情報は令和2年12月18日時点のものです。状況により、掲載内容は変更となる場合があります。

県からの要請により、新型コロナウイルスに感染された患者さんの受け入れを行っています

受け入れ病棟と一般病棟を区分するとともに、職員を含め当該区域への立ち入りを厳しく管理し、院内の安全管理や感染防止にじゅうぶんな対策を講じています。現在、県の「コロナとのつきあい方滋賀プラン」では、「注意ステージ（ステージⅡ）」（感染拡大防止対策を

より徹底するステージ）となっています。それにより、面会制限や来院者への検温、マスク着用をさらに徹底しています。

市民の皆さんには、ご理解・ご協力をお願いします。
☎彦根市立病院 ☎ 22-6050（代表）

新型コロナウイルス感染症患者専用病棟の様子



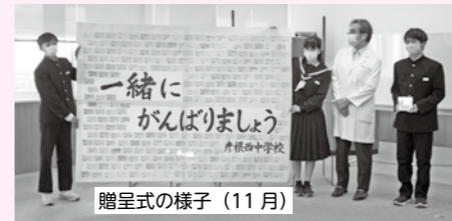
市立病院ロビーに設置されているメッセージボード

彦根市立病院の皆さんに届けられた 応援のメッセージ

西中学校

生徒会を中心にビデオメッセージなどを制作！

医療従事者の皆さんへ感謝を伝えるために、ビデオメッセージと、全校生徒から集めた手書きのメッセージを、市立病院に届けました。

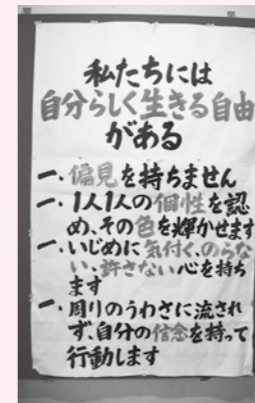


贈呈式の様子（11月）

コロナ禍の影響で学校行事や部活の大会などが中止となり、みんな本当に落ち込んでいました。生徒会執行部で「こんな今だからこそ、自分たちで何かできないか？」と話し合い、実現しました。

「がんばれ」だけだと人任せになる。予防や対策など、自分たちでも間接的に誰かを救うことができると思い、「一緒にがんばりましょう」にしました。

ビデオの中に西中人権宣言を入れました。コロナの感染者や医療従事者などへの誹謗中傷や差別は、絶対にダメということを発信したかった。中学生が発信することに意味がある、と思っています。



▲生徒みんなの思いを集めて新たに作られた「西中人権宣言」

医療従事者の皆さん
「一緒に」がんばりましょう！



生徒会・生徒会長
2年・今居 秋羽 さん

元生徒会・生徒会長
3年・関野 稜平 さん

元生徒会・人権担当
3年・大澤 瑞葵 さん

彦根東高校

新聞部を中心にメッセージ集を制作！



贈呈式の様子（9月）

夏休みを中心に、32のクラブと3年生の有志から、応援メッセージを集め、市立病院に届けました。

新聞部では、コロナ禍での医療現場の実情を特集として掲載するにあたり、市立病院で取材を行いました。実際の現場の緊迫した雰囲気などを肌で感

じたり、医療従事者の皆さんの生の声を聞いたりして、取材後に部員同士で「何か応援できないか」と話し合っ、メッセージアルバムを制作しました。

医療従事者の皆さんの負担を減らすために今、私たち高校生ができることは、感染症対策を徹底すること。差別を絶対に許さないこと。その意識を高めるためにも、最前線で戦っている皆さんのことを、自分には関係ないと思わず、心に刻み付けて、感謝とエールを送りたいです。



※新聞部の一部の記事は、彦根東高校のホームページからご覧になれます。

医療従事者の皆さんの負担を物理的に減らすことは難しい。だから精神的に応援したいです！



※写真撮影のため、マスクを外していただいています。

新聞部編集長
2年・村木 春桜 さん

救急センター

迅速な対応や患者さんや医療者への感染拡大防止に向け、細心の注意を払っています

救急受診に来られる患者さんや救急搬送される患者さんは初めての人も多く、情報が少なく症状の原因が分からない状況で診療を行うため、常に感染症を念頭に置き診療を行っています。

新型コロナウイルスの流行によりさらに対策を強化し、症状に応じて隔離して対応をしています。



▲救急センターの様子

受け入れ病棟

患者さんのストレスやご家族の不安を和らげるような対応に努めています

新型コロナウイルス感染症患者さんの専用病棟として、日々患者さんの治療にあたっています。

入院患者さんは、感染拡大防止のために病室から出られない中での療養となりますので、身体が回復されていく中でも、ストレスや不安が常にあります。

そんな患者さんのストレスや不安を和らげるよう、「買い物の代行」「栄養士と相談して食事の工夫」「家族とのオンライン面会」などを行い、患者さんやご家族に安心していただけるようにしています。

退院された患者さんからのメッセージや市民の皆様の声が、私たちの励みになっています。

今後も患者さんの増加が予想される中、準備を整えながら、患者さんと向き合っていきたいと考えています。

外来

地域住民の皆さんがいつでも安心して通院できるように、さまざまな対策を講じています

患者さんがいつでも安心して通院できる環境を提供するため、次の項目を実施しています。

- ▶院内の出入り口を制限する
- ▶熱がある人を選別する
- ▶熱の原因が不明で感染が疑われる患者さんを別の場所で診療する

医療者が、感染症疑いのある患者さんに対し、初めから感染対策を行って対応することにより、院内感染の防止にも繋がります。



▲市立病院入り口の様子

市立病院職員からのメッセージ

市内の中学生や高校生、市民の皆さんから、たくさんの温かいメッセージをいただいています。私たちは日々これらを励みにして、この困難な状況を乗り越えたいと思います。本当にありがとうございます。

11月に入って、国内でも感染者が増加しています。感染予防をしながら日常生活を送る“コロナとの共存”が求められています。自分を、周囲の大切な人を、そして社会を守るために、「コロナに負けるな！」をモットーに、病院職員が一丸となってこの難局を乗り越え、がんばっていきます！